



世界中に起きているストーリー。  
人類史に普遍的なストーリー。



坂本龍一 (音楽家)



## くらしの根っこ、そこに核がある

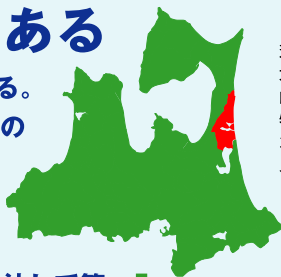
原子力発電所で電気を作っていることは誰でも知っている。原発に反対する人々と容認・推進する人々がいる。普通の人が原発について考えようとすると、両極端の情報が混在し、多くの人々は良くわからない、仕方がない、自分には関係ないと思っている。

映画には賛成・反対、双方の村人が出て、語ってくれる。決して簡単な取材ではなかったがそこにこそ意味があると思ったからだ。原子力、それは一方では未来の可能性であり、また一方では命を脅かす存在として捉えられている。六ヶ所村の人々はそれぞれ、自分自身の選択を生きている。そんな人々の暮らしや日常から私たちの未来が立ち上がってくる。

鎌仲ひとみ [監督]

監督:鎌仲ひとみ 製作・配給:グループ現代

プロデューサー:小泉修吉 撮影:大野夏郎、松井孝行、フランク・ベターツピエ 編集:松田美子 助監督:河合樹香 音楽:津軽三味線奏者 倭(やまと) [小山内薫、永村幸治、柴田雅人]、ハリー・ウィリアムソン 上映配給:巖本和道、藤井佳子、澤口佳代 編集スタジオ:ネオ P&T 録音スタジオ:東京テレビセンター 支援:文部科学省 2006年/16mm/カラー/スタンダード/119分



### 【青森県上北郡六ヶ所村】

斧の形をした下北半島の付け根にある。太平洋側には豊かな漁場。内陸は米作りにはむかないが、牧畜に適した丘陵地帯が広がっている。30年前から巨大開発に翻弄されてきた。人口1万1千人。



### 【あらすじ】

2004年、六ヶ所村に原発で使った燃料からプルトニウムを取り出す再処理工場が完成した。稼働に向けて動き出した巨大な国家プロジェクトをめぐる様々な立場の村人たちが登場する。推進も反対も核と共に生きること余儀なくされている。それぞれの選択した生き方と平行して着々と進む再処理計画。カメラは事故を起こしたイギリスの再処理工場へ。

その40年の歴史が六ヶ所の未来を予感させる。多様な人々の思いが交錯し、私たち自身の選択を迫ってくる。

● <http://rokkasho-rhapsody.com>

● <http://rokkasho.ameblo.jp>



### 特典

「六ヶ所村ラブソディー」予告編——核と共に生きる六ヶ所村の多様な人々の生き様が切なく響く。

「6ラブ日記」——「六ヶ所村ラブソディー」のその後を記録した「六ヶ所村通信no.4」制作過程の映像。

© GROUP GENDAI FILMS CO., LTD.

発売:株式会社 グループ現代 販売:株式会社 紀伊國屋書店 <http://www.kinokuniya.co.jp>

|                             |            |              |                |      |
|-----------------------------|------------|--------------|----------------|------|
| APPROX. 119min. + 特典 28min. | 片面2層ディスク   | COLOR        | MPEG-2         | 複製不能 |
| ① 日本語 ステレオ                  | ④:③ スタンダード | ② NTSC 日本市場向 | 無許諾レンタル・中古販売禁止 |      |

¥5,040 (税抜価格¥4,800) KKJS-80

●このDVDに収録されている映像、音声及び文字の使用は、個人家庭内での鑑賞を目的にした使用に限って許可いたします。有料・無料を問わず、上映に使用することは禁じます。上映を希望される場合は、グループ現代 TEL.03-3341-2863へお問い合わせ下さい。

鎌仲ひとみ監督作品『ヒバクシャ—世界の終わりに』世界中の核汚染の実態を、イラクやアメリカ、日本のヒバクシャたちの肉声でつづったドキュメンタリー。 ¥5,040(税抜¥4,800) KKJS-30

六ヶ所村ラブソディー ★ご注文は、最寄りのDVD取扱店またはインターネット通販で  
Rokkashomura Rhapsody

◎商品に関するお問い合わせは

株式会社 紀伊國屋書店 映像情報部 TEL:044-874-9659 FAX:044-829-1020 E-mail:ej00@kinokuniya.co.jp